

平成28年度郷土を愛する心をはぐくむ教育についての取り組み

みやき町教育委員会

【みやき町の特徴や誇れるもの】

- ・奈良・平安時代の道路や江戸時代の長崎街道が東西に走り、交通の要衝として古くから栄えてきた。
- ・江戸時代の治水の神様と呼ばれる、成富兵庫茂安が築いたお茶屋の堤や中原水道などの施設が多く残されている。
- ・江戸時代中期から始まった白石焼は、今でも数軒の窯元がその伝統を受け継いでいる。
- ・日本最古の气象台といわれる綾部神社の旗揚げ神事や、千栗八幡宮の粥占いなど、古くから伝わる伝統行事が多くみられる。
- ・秋には、町内各地で浮立が行われ、子どもから大人まで参加して、地域の伝統文化を保存、継承している。

教育委員会所在地:みやき町大字東尾6436番地2
連絡先:0942-89-3052
小学校 4校、中学校 3校

【玉ねぎ収穫体験】

北茂安小学校の1年生が玉ねぎの収穫を体験している。地元の農家の協力で、約20年間続いている。収穫した玉ねぎは給食にも使用する。



【和ろうそく作り】

中原小学校では3年生が総合的な学習の時間の中で郷土の歴史を学ぶ活動として和ろうそく作りを行っている。中原校区では、昭和30年代まで蠟の製造が盛んに行われていた。地元団体の方々に指導していただいている。



【しめ縄づくり】

三根東小学校、三根西小学校では、老人クラブより講師を招き、毎年、縁起物づくりを体験している。作ったしめ縄は、児童がもちかえり自宅に飾っている。

【エツの放流】

三根東小学校、三根西小学校の校区は筑後川流域にあり、両校ともに、総合的な学習の時間等を活用し、郷土に関する学習を行っている。

エツは有明海と筑後川だけに生息する珍しい魚である。放流事業を通して郷土を大切にす姿勢を身に付けさせている。



【綾部神社神事】

中原校区の綾部神社は、日本最古の气象台ともいわれ、旗揚げ神事、旗降ろし神事が行われる。中原小学校では、綾部神社の浮立行列に参加したり、旗降ろし神事の際に行われる奉納相撲に参加したりすることを通して、郷土の伝統文化を受け継ぐことの大切さを学ばせている。



みやき町の特徴や誇れるもの

- ・奈良・平安時代の道路や江戸時代の長崎街道が東西に走り、交通の要衝として古くから栄えてきた。
- ・江戸時代の治水の神様と呼ばれる、成富兵庫茂安が築いたお茶屋の堤や中原水道などの施設が多く残されている。
- ・江戸時代中期から始まった白石焼は、今でも数軒の窯元がその伝統を受け継いでいる。
- ・日本最古の气象台といわれる綾部神社の旗揚げ神事や、千栗八幡宮の粥占いなど、古くから伝わる伝統行事が多くみられる。
- ・秋には、町内各地で浮立が行われ、子どもから大人まで参加して、地域の伝統文化を保存、継承している。

中原小学校の取組

中原小学校では、3年生が総合的な学習の時間の中で、ふるさとの歴史を学ぶ活動として、「和ろうそく作り」に挑戦している。

中原校区では江戸時代から昭和30年代まで、ハゼの実から抽出した蠟の製造が盛んだったという歴史があり、地元有志で作る「中原の豊かな自然を守る会」の会員の方に、平成21年度から毎年指導をもらっている。

棒状に丸めた和紙に熱した蠟を塗って芯を作り、それを円柱状の型枠に入れて蠟を流し込んで作る。子供たちは、和ろうそく独特のゆらゆらと揺れる火に歓声を上げ、郷土の歴史に思いをはせている。



教育委員会所在地:みやき町大字東尾6436番地2

連絡先:0942-89-3052

学校数: 小学校 4校、中学校 3校

三根東小学校の取組

三根東小学校では、3年生が総合的な学習の時間に「エツが住む筑後川について調べよう」のテーマで、毎年エツについての学習をしている。

エツは国内で有明海と筑後川だけに生息する珍しい魚で年々減少傾向にある。

今年も下筑後川漁業の協力を得て、稚魚2万匹を放流し、保護活動の一旦を担うことができた。今後もふるさと「筑後川」を大切に守る活動を続けていきたい。



北茂安中学校の取組

北茂安中学校では、総合的な学習の時間に「郷土を知ろう」というテーマで地域についての調べ学習などを行っている。

その一環で地域の伝統工芸である白石焼の体験活動を行った。体験をするにあたり、地域で白石焼をされている裕翠窯の方に協力していただいた。



白石焼の歴史から、型作り、素焼き、釉薬がけ、本焼き、完成まで指導や助言を頂いた。子どもたちは意欲的に取り組み、楽しみながら白石焼についての学習を深めることができた。